



2024年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月15日

上場会社名 Hamee株式会社

上場取引所

東

コード番号 3134

URL https://hamee.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 水島 育大

問合せ先責任者(役職名) 執行役員

(氏名) 富山 幸弘 (TEL) 0465-25-0260

四半期報告書提出予定日 2024年3月15日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第3四半期の連結業績(2023年5月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	12,782	21.3	1,362	16.4	1,441	18.9	693	△14.9
2023年4月期第3四半期	10,542	5.6	1,169	△37.6	1,212	△37.1	814	△43.7

(注) 包括利益 2024年4月期第3四半期 1,009百万円(4.8%) 2023年4月期第3四半期 963百万円(△33.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	43.56	43.54
2023年4月期第3四半期	51.25	51.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	14,209	9,643	67.2
2023年4月期	12,320	8,960	72.0

(参考) 自己資本 2024年4月期第3四半期 9,550百万円 2023年4月期 8,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2024年4月期	—	0.00	—		
2024年4月期(予想)				22.50	22.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日~2024年4月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,292	23.2	1,868	47.0	1,942	38.8	1,053	11.4	64.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は年次で業績管理を行っているため、業績予想につきましては通期のみの記載となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期3Q	16,280,000株	2023年4月期	16,280,000株
② 期末自己株式数	2024年4月期3Q	355,555株	2023年4月期	363,737株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期3Q	15,919,946株	2023年4月期3Q	15,902,468株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、12月の日銀短観によると大企業全産業のD I（業況判断指数）が製造業では3四半期連続の改善、非製造業では7四半期連続の改善となり、経済活動の正常化による個人消費の持ち直しの動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化や不安定な中東情勢などの影響により原燃料・エネルギー価格の高騰や為替相場の急変動などにより、依然として先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

このような経営環境の下で、当第3四半期連結累計期間における当社グループのセグメントごとの経営成績は次のとおりとなりました。

① コマースセグメント

a. モバイルライフ事業

新型iPhone向けの商材としてiFaceブランドを中心に新商品を展開することで、前年同期の実績を超える水準の売上を確保すべく販売活動に注力いたしました。新型iPhone以外の売れ筋の機種向けについても継続的に新商品展開を行い、人気シリーズのReflectionシリーズにおいては、新たにMagSafe対応iFace「Reflection Neo Magnetic」を投入、また市場トレンドを取り入れた「iFace MagSynq カードウォレット」等を継続的に市場投入した結果、ECおよび卸販売共に順調に売上を拡大し、売上高は前年同期比3.9%増となりました。

b. ゲーミングアクセサリ事業

第2四半期累計期間までは競合他社製品との競争の激化が見られましたが、当第3四半期会計期間に入り順調に販売が回復いたしました。特にホワイトモデルのゲーミングモニターおよびモニターアーム等の周辺機器が牽引役となり、Amazonブラックフライデーなどモールのセールや年末商戦において販売が拡大いたしました。また、ゲーミングモニターブランド「Pixio（ピクシオ）」が2024年1月に「Amazon.co.jp販売事業者アワード2023」タイムセール賞を受賞するなど、再び市場での注目を集めるまでに状況が改善いたしました。この結果、売上高は前年同期比16.5%増となりました。

c. コスメティクス事業

コスメティクスブランド「ByUR（バイユア）」は前期第4四半期の好調さを引き続き維持しており、売上高が期初計画の2倍を上回る状態にて推移しております。これまでに各種コスメアワードを受賞し、2023年における年間アワード受賞数は51冠（ブランド累計118冠）を数えるほか、各種ECモールの売れ筋ランキング上位入賞となるまで成長し、これまで以上に存在感が増したことで、新規卸販売先との契約が大幅に増加し、ByUR導入店舗数は2,000店舗を超えました。また、同時にベースメイクおよびスキンケア商品の新商品展開を行った結果、売上高は前年同期比888.1%増となりました。

d. グローバル事業

韓国市場、米国市場、中国市場ともにグループ外に対する売上高は好調となっており、計画通り増収（前年同期比35.1%増）となりました。これは主に昨年1月に事業譲受をいたしました音楽雑貨オタマトーンの販売が米国市場において好調に推移したためであります。売上が好調なコスメティクス事業関連商品のグループ間取引の増加による売上高の連結消去の額が増加しましたが、連結調整後の売上高は前年同期比17.2%増となりました。

これらの結果、コマースセグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は9,921,854千円（前年同四半期比25.6%増）、セグメント利益（営業利益）は667,531千円（同0.2%減）となりました。

② プラットフォームセグメント

a. ネクストエンジン事業

2023年6月に実施したサービス価格の改定により従量課金の基礎となる受注処理件数の増加が利用料金に反映しやすくなると同時に、基本利用料を月額10,000円から3,000円に引き下げたことでEC販売における流通額が小規模な事業者様への間口が広がり、契約獲得ペースが回復基調となりました。また、昨年12月に株式会社メルカリが運営する「メルカリShops」とネクストエンジンの連携及び、それに伴うキャンペーンの実施などにより、順調に契約社数が伸びた結果、当第3四半期の契約純増数は117社となりました。

料金改定に伴うARPUの向上と、12月に協業をスタートした、「メルカリShops」との営業連携に付随するインセンティブ売上などによって、ネクストエンジン事業の売上高は前年同期比15.3%増と二桁成長となりました。

また、前連結会計年度に引き続いてECから撤退する事例が一定数認められるものの解約数自体は引き続き低位で推移し、当第3四半期の解約率は0.92%となりました。

b. コンサルティング事業

コンサルタントのリソース確保という経営課題に継続的に取り組むと同時に、業績改善に向けた新たな成長戦略を推進しておりましたが、2024年1月より新規契約に向けた営業活動を再開いたしました。引き続きコンサルタント不足に起因する売上の減少はあるものの、採算性を重視した活動に注力しており、当第3四半期の営業利益の実績は期初計画を上回ることが出来ました。

c. ロカルコ事業

10月に施行された、ふるさと納税に係る一部制度変更に起因する駆け込み需要が発生し、9月に大きく売上を伸ばしましたが、10月以降は当該駆け込み需要の反動減が認められ、当第3四半期の売上高は前年同期比0.3%増となりました。引き続き既存契約自治体への付加価値提供と新規自治体との契約獲得に注力してまいります。

これらの結果、プラットフォームセグメントの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,869,179千円(前年同四半期比8.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,478,364千円(同23.8%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は12,782,724千円(前年同四半期比21.3%増)、営業利益は1,362,055千円(同16.4%増)、経常利益は1,441,350千円(同18.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は693,467千円(同14.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ1,889,014千円増加し、14,209,501千円となりました。これは主に、商品が974,496千円増加したこと、その他の流動資産が528,454千円増加したこと、売上高増加により受取手形及び売掛金が311,976千円増加したこと、関係会社株式が305,981千円増加した一方で、連結子会社から当社への配当方針を変更したことに伴い繰延税金資産が140,042千円減少したこと、現金及び預金が105,938千円減少したことなどの結果によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ1,205,780千円増加し、4,565,766千円となりました。これは主に、未払金が679,440千円増加したこと、長期借入金が337,500千円増加したこと、短期借入金が200,000千円、1年内返済予定の長期借入金が90,000千円増加した一方で、未払法人税等が151,141千円減少したことなどの結果によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ683,233千円増加し、9,643,734千円となりました。これは主に、利益剰余金が360,090千円増加したこと、為替換算調整勘定が278,499千円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2023年6月14日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しました。なお、修正内容の詳細につきましては、2024年3月15日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,535,669	3,429,730
受取手形及び売掛金	1,797,001	2,108,977
商品	1,643,852	2,618,348
仕掛品	10,658	13,420
原材料及び貯蔵品	35,569	62,441
その他	1,597,362	2,125,816
貸倒引当金	△38,135	△48,663
流動資産合計	8,581,977	10,310,072
固定資産		
有形固定資産		
建物	745,514	817,009
減価償却累計額	△129,270	△183,304
建物（純額）	616,243	633,705
車両運搬具	3,604	3,862
減価償却累計額	△863	△1,505
車両運搬具（純額）	2,740	2,357
工具、器具及び備品	1,040,999	1,323,583
減価償却累計額	△722,982	△983,207
工具、器具及び備品（純額）	318,016	340,376
使用権資産	355,894	392,622
減価償却累計額	△123,214	△222,154
使用権資産（純額）	232,679	170,467
土地	337,086	361,281
建設仮勘定	1,564	1,676
有形固定資産合計	1,508,332	1,509,864
無形固定資産		
のれん	490,930	443,088
ソフトウェア	305,312	286,169
商標権	15,219	16,778
その他	14,098	30,317
無形固定資産合計	825,562	776,353
投資その他の資産		
投資有価証券	550,030	598,989
関係会社株式	45,018	350,999
長期貸付金	—	16,955
退職給付に係る資産	143,447	120,157
繰延税金資産	563,817	423,775
その他	118,340	120,673
貸倒引当金	△16,039	△18,339
投資その他の資産合計	1,404,614	1,613,210
固定資産合計	3,738,509	3,899,428
資産合計	12,320,486	14,209,501

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	166,048	232,988
短期借入金	1,300,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	—	90,000
未払金	862,932	1,542,372
未払費用	245,155	234,293
未払法人税等	438,653	287,511
賞与引当金	25,201	44,595
その他	198,268	211,668
流動負債合計	3,236,260	4,143,430
固定負債		
長期借入金	—	337,500
資産除去債務	11,341	12,155
その他	112,384	72,681
固定負債合計	123,725	422,336
負債合計	3,359,985	4,565,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	598,262	598,262
資本剰余金	543,737	544,751
利益剰余金	7,834,362	8,194,453
自己株式	△349,636	△341,773
株主資本合計	8,626,725	8,995,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,163	40,816
為替換算調整勘定	235,004	513,503
その他の包括利益累計額合計	238,167	554,319
新株予約権	95,608	93,721
純資産合計	8,960,501	9,643,734
負債純資産合計	12,320,486	14,209,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年5月1日 至2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年5月1日 至2024年1月31日)
売上高	10,542,076	12,782,724
売上原価	4,045,754	4,768,303
売上総利益	6,496,321	8,014,421
販売費及び一般管理費	5,326,605	6,652,365
営業利益	1,169,715	1,362,055
営業外収益		
受取利息	7,539	737
消費税差額	—	50,665
持分法による投資利益	482	3,357
為替差益	19,525	24,602
その他	35,048	30,673
営業外収益合計	62,595	110,037
営業外費用		
支払利息	7,449	20,703
支払保証料	5,770	5,801
貸倒損失	4,516	—
その他	2,036	4,237
営業外費用合計	19,772	30,742
経常利益	1,212,538	1,441,350
特別利益		
固定資産売却益	3,083	104
投資有価証券売却益	28,478	—
新株予約権戻入益	—	1,887
特別利益合計	31,562	1,991
特別損失		
固定資産除却損	8,106	2,118
投資有価証券評価損	14,247	5,070
子会社株式清算損	—	3,238
特別損失合計	22,353	10,427
税金等調整前四半期純利益	1,221,747	1,432,914
法人税、住民税及び事業税	362,602	571,754
法人税等調整額	44,165	167,692
法人税等合計	406,767	739,446
四半期純利益	814,979	693,467
親会社株主に帰属する四半期純利益	814,979	693,467

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	814,979	693,467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△637	37,653
為替換算調整勘定	149,324	278,499
その他の包括利益合計	148,687	316,152
四半期包括利益	963,666	1,009,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	963,666	1,009,620
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	7,902,375	2,639,700	10,542,076	—	10,542,076
外部顧客への売上高	7,902,375	2,639,700	10,542,076	—	10,542,076
セグメント間の 内部売上高又は振替高	289	4,086	4,376	△4,376	—
計	7,902,665	2,643,787	10,546,452	△4,376	10,542,076
セグメント利益	668,565	1,194,434	1,862,999	△693,283	1,169,715

(注) 1 セグメント利益の調整額△693,283千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コマース	プラット フォーム	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	9,921,854	2,860,869	12,782,724	—	12,782,724
外部顧客への売上高	9,921,854	2,860,869	12,782,724	—	12,782,724
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	8,309	8,309	△8,309	—
計	9,921,854	2,869,179	12,791,034	△8,309	12,782,724
セグメント利益	667,531	1,478,364	2,145,896	△783,840	1,362,055

(注) 1 セグメント利益の調整額△783,840千円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

(注) 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。